

			教科書・問題集の試験範囲	各教科の先生からのアドバイス	提出物
9月29日(木)	1時間目	英語	<p>○教科書 p 33~55 (一般動詞・できること can・「何を」とたずねる文 What・This is~, That is~, ・代名詞・「だれ」とたずねる文 Who is~?)</p> <p>○ジョイフルワーク p 28~47</p> <p>○Aノート p24~47</p> <p>○カラープリント2枚 (Program2, 3)</p> <p>○リスニング問題</p> <p>○Our project①「あなたの知らない私」の表現問題</p>	<p>①試験範囲の本文や単語を5回以上音読し、すらすら読めるようになる。</p> <p>②SCENESや、THINKを何回も読み、英語を日本語に直したり、日本語を英語に直したりしながら読もう。(授業でつけた音読シートを活用しよう)</p> <p>③ワークを自分の力で全て解こう。間違えてもいい!まず自分でじっくり考えて、どうしても単語が分からないときは、教科書などで調べる。○付けをして、赤で書き直す。</p> <p>④Aノートを見て、授業中アンダーラインをした箇所を読んだり、暗記したりする。(重要表現といいます)</p> <p>⑥単元プリントを、答えを隠しながら、書いたり、言ったりしながら書き直す。</p>	<p>①ジョイフルワーク (○付けまで)</p> <p>②Aノート</p> <p>提出日は試験当日。 テスト後、教科委員は回収して、名簿にチェックすること。</p>
	2時間目	理科	<p>○教科書 P.8~91</p> <p>○理科ノート P.2~35</p> <p>○カラープリント 1~6</p> <p>○ワーク P.2~30</p> <p>○夏課題テストの大問8・9</p>	<p>・カラープリントは、No.6を最低3回は解いて、密度の計算、ガスバーナーの使い方、気体の集め方を完璧にしておくこと。</p> <p>・夏課題テストの大問8・9と似たような問題を出題するので、植物の仲間分けと動物の仲間分けの特徴を完璧にしておく。</p>	<p>理科ワーク(P.31まで)丸付けをして提出</p> <p>提出日 9月20日(月) 8:05までに理科係が集めて、各クラスの教科担当の先生に提出</p>
	3時間目	国語	<p>○教科書 p59「言葉のまとまりを考えよう」 p68~72「詩の世界」 p73~76「比喻で広がる言葉の世界」</p> <p>○ワーク p38~40、p45~50</p> <p>○漢字プリント 1-7~1-12 (読み問題からは読み、書き問題からは書きしか出しません)</p>	<p>○漢字プリントからは読み問題からは読み、書き問題からは書きしか出しません。しっかり全部覚えましょう</p> <p>○授業で学習した内容を復習するときは、しっかり教科書を読もう。読むときには、授業で書いたノートやプリントと一緒に読み返していくと大事なところがわかります</p> <p>○ワークやWプリントから同じような問題が出ることもあります。確認しておきましょう</p>	<p>テスト前に、ファイルとワークをチェックします。チェックの日は、授業担当の先生から連絡があります。</p>
9月30日(金)	1時間目	社会	<p>歴史 教科書 P20~39 「第2章 古代までの日本」 よくわかる社会の学習(歴史ワーク) P2~13。 P56・P57。P58の55番から60番まで。</p> <p>地理 教科書 P26~43 「第2部世界のさまざまな地域 第1章人々の生活と環境」 よくわかる社会の学習(地理ワーク) P26・27のみ</p>	<p>歴史 ・人類の出現と進化・古代文明のおこりと発展・中国文明の発展・ギリシャ・ローマの文明・宗教のおこりと三大宗教・旧石器時代と縄文時代の暮らし・弥生時代の暮らしと邪馬台国・大王の時代・聖徳太子の政治改革・東アジアの緊張と律令国家への歩み 以上の範囲から出題されます。教科書を確認し、太文字で書かれている重要語句は説明できるようにしておきましょう。</p> <p>地理 ワークP26・27を繰り返し解いておく。</p> <p>※問題はワークからほとんど出題されず。最低3回は解きましょう。</p>	<p>歴史 ワークP2~13。P56・P57。P58の55番から60番まで。答え合わせをしてテスト終了後提出。 社会係はチェックをし、番号順に並べて各担当に持つてくる。</p> <p>地理 なし。</p>
	2時間目	数学	<p>教科書P.56~91</p> <p>数学ワークP.36~P59</p> <p>パワーアップシートNo.13~20</p>	<p>○文字式の計算(加法、減法、乗法、除法)を解くことができる。 ※ワークや教科書、プリントの問題をくり返し解いて勉強しておくこと。</p> <p>○符号のミスをしないように気をつけること。</p> <p>○数学的用語をきちんと覚えること。(教科書の太字は最低限覚える。)</p> <p>○文字式の表し方を覚え、正しく表すことができる。</p> <p>○数量を表す式や関係を表す式を、立てることができるようになる。</p>	<p>テスト前に、ノートとワークとファイルをチェックします。</p> <p>チェックの日は、授業担当の先生から連絡があります。</p>